学校番号	3037

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	『増補新版　現代の国語』（数研出版）						
副教材等	『重要漢字コレクション 2800　改訂版』（啓隆社） 『新演習　現代文アチーブ１　四訂版』（桐原書店） 『読解を深める　現代文単語　三訂版』（桐原書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 復習と試験勉強は計画的に取り組み、習慣を確立しながら思考力・読解力養成に努めてください。
- 社会生活に必要な漢字や語彙の力を伸ばし、基礎的な国語の力を身につけましょう。
- 授業だけではなく、日ごろから読書に親しみ、自己を向上させましょう。
- 授業では、課題に対して自ら考え、話し合いや文章記述などを通して自分自身の思いや考えを他者と共有したり、複数人で解答を考えたりする協働学習を行います。積極的な参加を心がけなさい。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「話すこと・聞くこと」，「書くこと」，「読むこと」の各領域において，論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで読書に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	日本と西洋の「水」に対するとらえ方の違いを整理する。 ［教材］社会と文化/水の東西	a：個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b[　読　]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート
	文章中の抽象的な表現について説明する。 ［教材］新しい視点/白紙	a：比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 b[　読　]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート
	意味段落のまとまりを意識して読み、各段落の内容、および文章全体の構成をとらえる。 ［教材］比較する/会話という現象	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b[話・聞]：「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 c：筆者の意見や参考資料をもとに実社会の問題について積極的に考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート
	《会話という現象》と比較しながら読み、作品中の会話をもとにコミュニケーションやマニピュレーションについて理解を深める。 ［教材］比較する/スライダーズ・ミックス	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b[話・聞]：「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 c：異なる種類の文章を積極的に読み比べて、それぞれの内容について話合い、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート
2	意味段落のまとまりを意識して読み、各段落の内容、および文章全体の構成をとらえる。 ［教材］ことばの働き/ものとことば	a：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b[話・聞]：「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 c：調べた情報を踏まえてテーマについて自分の考えをもち、話し合いの活動に積極的に参加しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート

	文章中の抽象的な表現について説明する。 ［教材］「わたし」の多様性/「わたし」の輪郭	a:言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b[書]:「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 c:論理的文章と関連する資料を積極的に比較考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート
	本文の批評文としての構成を捉え、『羅生門』についての筆者の考え、立場を理解する。 ［教材］批評する/『羅生門』の最後の一文	a:文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 b[書]:「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c:複数の文章を積極的に読み比べて考えたことを学習課題に沿ってわかりやすく説明しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート
3	文章中の抽象的な表現について説明する。 ［教材］認識の枠組み/浪費を妨げる社会	a:実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:筆者が論じる問題を積極的に自分に引きつけて考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート
	筆者の主張が述べられた部分について、指示語の内容を明示しながら説明する。 ［教材］認識の枠組み/他者を理解するということ	a:主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:論理展開を押さえながら筆者の述べている内容を粘り強く読み解き、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準b[ ]について…括弧内には[話／聞、書、読]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間